

■ 第 2 期田辺市総合戦略の全体像（基本目標と基本的方向）とデジタル化のメニュー表

基本目標	具体的な施策			田辺市の状況	デジタル化のメニュー (デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ (2024年春版) https://digiden-service-catalog.digital.go.jp/ および デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォームRAIDA https://raida.go.jp/ より)			
	施策 大分類	施策 小分類	デジタル化に関連する/つながる記述 (抜粋)		対象分野	サービス分類	概要	他自治体の事例
基本目標 1：新 たな人の流れの 創出・拡大 ～「ふるさとに 帰ってくる」、 「新しく移り住 む」、「多様 に関わる」人の流 れをつくり、ふ やす～	1-1. ふるさと回 帰・多様な移住 の促進	1) 住む場所の確保	・ 移住者への生活情報の提供 をはじ め、空き家の斡旋等を行うワンストッ プ相談窓口の充実や、空き家に対する 改修費用の支援を行います。	・ 田辺市定住支援協議会 SUMORA TANABE https://tanabegurashi.jp/	・ 住民サービス	・ 住民向けポータルアプリ ・ LINEを活用した情報発信等住民 ポータル ・ 特定個人向け情報配信	・ 自治体のポータルアプリ等、住民への情報提供 やワンストップでの各種手続き・相談を可能とす るもの。 ・ LINEを活用して、住民への情報提供やワンス トップでの各種手続き・相談を可能とするもの ・ 年齢、性別等個人属性に応じた情報発信を行う サービス	1-1-1. 有田市「有田市市民ポータル構築事業」
		2) 働く場所の確保	・ 農林水産業や観光、福祉等の様々な 分野において、 移住者の新規就業を支 援 します。	・ UIわかやま就職ガイド https://www.wakayama-uiturn.jp/ ・ わかやま就職支援センター はたらコーデわか やま https://hataracoorde.com/		・ 移住支援業務のデジタル化	・ 移住に特化したポータルサイト、就業マッチン グサイト等の構築を行うもの	1-1-2. 静岡県静岡市「メタバースを活用した移住 促進事業」 1-1-3. 広島県坂町「デジタル技術を活用した移 住・定住促進と町の魅力発信プロジェクト」 1-1-4. 山口県萩市「萩市移住定住促進デジタル化 事業」
		3) 移住促進に向けた 外部への魅力発信	・ 市定住支援協議会のホームページや 他の移住支援サイト等を活用し、本市 でのライフスタイルを紹介する等、総 合的な移住情報の発信・強化 を図りま す。	・ 和歌山県公式移住ポータルサイト わかやま LIFE>空き家バンク情報 https://www.wakayamagurashi.jp/house/		・ 空き家管理のデジタル化	・ 空き家の所有者と利用者をマッチングさせるブ ラットフォームの構築等、空き家管理をデジタル 化するもの	1-1-5. 茨城県常総市「空き家活用基盤構築事業」 1-1-6. 埼玉県寄居町「空き家の利活用促進事業」
		4) ふるさと回帰の推 進	・ 本市出身者がふるさとに戻ってくる ために必要な仕事をはじめとする各種 情報の発信 や合同企業説明会の開催な ど、Uターン促進施策を推進します。					
		5) ふるさと教育の推 進						
	1-2. 「観光立 市」の推進によ る交流人口の拡 大	1) 世界遺産の戦略的 活用による国内外から の誘客促進	・ 熊野古道の玄関口としての強みを生 かした情報発信 を行うとともに、市民 の意識醸成を図ります。	・ 田辺観光協会 https://www.tanabe-kanko.jp/	・ 観光	・ 観光周遊ポータル・アプリ	・ 観光情報の提供や周遊促進するポータルサイ ト、アプリ等を構築するもの	1-2-1. 有田市「有田市観光ポータル構築事業」 1-2-2. 白浜町「観光客が安心して観光を楽しめる 白浜町観光防災マップ」 1-2-3. 広川町「広川町の魅力発信と移住定住促進 のためのデジタルWEB雑誌制作」
		2) 観光プロモーション の推進	・ 熊野古道をはじめとする世界に誇る 観光資源を活用し、 各地域と連携した 観光情報の発信 を行います。 ・ 世界で二例しかない「巡礼道」の世界 遺産を有するサンティアゴ・デ・コ ンポステーラ市との共同プロモーション をはじめ、 国外向けの観光情報の発 信 を行い、国際的な観光地として海外 からの観光客の誘客促進を図ります。	・ 田辺市観光プロモーション映像 https://www.city.tanabe.lg.jp/kankou/tanabe-douga.html	・ 文化・スポー ツ ・ 観光	・ デジタルミュージアム ・ VRコンテンツの制作	・ 文化財のデジタルアーカイブ、文化施設内の3D 化等、文化財・文化施設をデジタル化するもの ・ AR・VRを用いて観光資源やイベント等に関する デジタルコンテンツを作成し、発信するもの	1-2-4. 兵庫県赤穂市「赤穂城跡デジタル博物館事 業」 1-2-5. 大阪府箕面市「VRコンテンツによる魅力発 信事業」 1-2-6. 香川県「メタバース活用による情報発信・ 交流拡大事業」
		3) 観光客の受入体制 強化	・ 近年、急増している海外からの観光 客に対して、商店街や飲食店等がス ムーズな接客ができるよう研修等を実 施するとともに、 キャッシュレス決済 の導入支援 や土産品等を購入する際に 消費税の免税手続を行うことができる 一括カウンターの設置等により観光客 の受入体制強化を図ります。 ・ 観光客の利便性の向上を図るため、 県をはじめとする関係機関と連携し、 県内の他の観光地から市内各地域に点 在する観光地を結ぶ二次交通の充実 を検討します。 ・ 観光関連施設へのW i - F i 環境の整 備 や各種機能の充実を図ることで、観 光地としての更なる魅力を高めます。	・ 和歌山県「紀伊半島における交通・観光のデジ タル化事業」 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/menubook/2022_summer/0099.html https://www.kii-pass.com/ 「高野山・熊野」という二つの世界遺産エリアに て、共通のシステムにより、交通・観光等の多様な コンテンツを含むMaaSのサービスを提供すること で、スマートフォン一つで紀伊半島を周遊観光で きるような環境を整備する。 令和5年11月30日に、令和5年度のキーパスの運用 期間は終了。 (紀伊半島外国人観光客受入推進協議会 観光MaaS推進部会：田辺市 商工観光部 観光振興 課長)	・ 産業振興 ・ 交通・物流 ・ 観光	・ 地域通貨・ポイント ・ モビリティ×他分野連携 ・ 住民向けMaaS ・ 観光客向けデジタルサイネージ の設置 ・ 観光データ（位置情報・人流） の見える化・活用	・ 地域経済の活性化を目的に地域ポイント、地域 クーポン機能、デジタル地域通貨等を導入するも の ・ 利用履歴等からの利用者行動分析システム ・ 路線バスのデジタルフリーパス購入者への店舗 特典の付与など観光分野と連携したMaaS ・ 地域ポイントと連携したモビリティサービス ・ 交通手段の検索・予約・決済や車両による移動 市役所、出張健康相談・行政相談等、住民向けの MaaSに関するもの ・ 観光情報等をデジタルサイネージにて発信をす るもの ・ カメラやセンサーから収集した混雑状況等の観 光データを見える化し、公開・活用するもの	1-2-7. 三重県多気町、大台町、明和町、度会町、 紀北町「美村-VISON-プロジェクト」 1-2-8. 和歌山県「紀伊半島における交通・観光の デジタル化事業」 1-2-9. 御坊市「キャンプ場を核としたデジタル周 遊事業」 1-2-10. 静岡県浜松市「ビッグデータを活用した誘 客・周遊促進」 1-2-11. 白浜町「より安全で快適な海水浴場の環境 確保事業」
		4) 日本版 DMO や民 間団体等との協働による 取組強化						

■ 第 2 期田辺市総合戦略の全体像（基本目標と基本的方向）とデジタル化のメニュー表

基本目標	具体的な施策			田辺市の状況	デジタル化のメニュー (デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ（2024年春版） https://digiden-service-catalog.digital.go.jp/ および デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォームRAIDA https://raida.go.jp/ より)			
	施策 大分類	施策 小分類	デジタル化に関連する/つながる記述 (抜粋)		対象分野	サービス分類	概要	他自治体の事例
		5) 多様なツーリズムの推進						
	1-3. 地域と多様に関わる 関係人口の創出・拡大	1) 都市・地域間交流の推進						
		2) 大学等との連携強化						
		3) 企業との連携強化						
		4) スポーツ合宿等の誘致	・田辺スポーツパークや新武道館（令和2年秋開館予定）を核として、スポーツ合宿や全国大会等の誘致を積極的に推進します。また、県や周辺市町と連携し、南紀エリアへのスポーツ合宿誘致を進めます。		・文化・スポーツ	・スポーツ指導のデジタル化	・ウェアラブル端末による活動の分析・指導やスポーツコンテンツのオンライン配信等、スポーツ指導等をデジタル化するもの	1-3-1. 佐賀県「SSPスポーツ科学大学連携設備整備費補助」
		5) 関係人口の創出に向けた外部への魅力発信	・首都圏を中心とした戦略的なシティプロモーションや ふるさと納税を通じて魅力や価値を発信 することで、交流人口の拡大に加えて、関係人口の創出・拡大を図ります。 ・ふるさと納税においては、 本市の特性を生かした返礼品の充実や寄付金活用先に焦点を当てた情報発信 とともに、リピーター確保に向けた取組を併せて展開することで継続的に本市を応援してもらえる寄付者の拡大を図ります。	・ふるさと田辺応援寄附金 https://www.city.tanabe.lg.jp/furusato/	・産業振興	・地域通貨・ポイント ・関係人口創出	・関係人口を創出するための地域ポイントアプリ ・利用履歴等からの利用者行動分析システム	1-3-2. 群馬県片品村「片品村 旅行de納税 おぜポン」 1-3-3. 福岡県東峰村「地域通貨を用いた地域経済DX事業」「持続可能な地域DX推進環境整備事業」
基本目標2：安定したしごとづくり～地域の資源と人々の創意工夫によって、田辺ならではのしごとをつくる～	2-1. 農林水産業の“稼ぐ力”の強化	1) 農業の振興	・関係機関等と連携し、農作業の負担軽減に向けて、 農業へのICTの活用を検討します。 ・イノシシやシカ、サル等の捕獲に対する補助をはじめ、狩猟免許取得に係る支援、防護柵の設置等の有害鳥獣対策を総合的に推進し、農家の収益確保を図ります。また、 ICTを活用した鳥獣害対策も併せて推進します。	・田辺市鳥獣被害防止計画（令和5年度）：ニホンザルの捕獲を中心に、市鳥獣害対策協議会所有のICTを活用した大型おりを地域に貸し出し、市内8箇所での捕獲を実施。令和3年度より捕獲わな長距離無線式パトロールシステム「ほかパト」を導入し、主に有害捕獲の担い手となっている農家のわな見回りの負担軽減・効率化のため、地域に機器を貸し出し、農家担い手の確保を目指している。 https://www.city.tanabe.lg.jp/nougyou/files/higaibousikeikakuR06-08.pdf	・農林水産	・スマート農業 ・鳥獣害対策	・環境モニタリングシステムや水田水位管理システム、農業散布ドローン等、スマート農業機器を導入するもの ・鳥獣捕獲確認・通知システム等、鳥獣害対策をデジタル化するもの	2-1-1. 奈良県奈良市「スマート農業推進事業」 2-1-2. 岡山県新見市「遠隔わな監視システム等導入事業」
		2) 林業の振興	・地理的、地形的な制約を踏まえ、 ICT等の活用 や高性能機械の導入等による林業技術の向上や、林道・作業道等の路網整備、森林施業の集約化等により、低コスト林業と生産性の向上を図ります。		・農林水産	・スマート林業	・森林クラウドによる森林資源情報管理や森林境界明確化等、林業をスマート化する特定のサービスを実装するもの	2-1-3. 岡山県真庭市「真庭市森林dx実装プロジェクト」
		3) 水産業の振興			・農林水産	・スマート水産業	・漁獲情報等の集積システムや海況予測システム、水質管理・照度調整システム等、水産業スマート化する特定のサービスを実装するもの	2-1-4. 佐賀県「SAGAスマート漁業実装支援事業」
	2-2. 市内事業所の競争力強化と集積促進	1) 経営改善への支援						
		2) 創業・第二創業への支援	・ 起業・創業に関する相談や人材マッチング、空き家及び空き店舗情報の窓口を設置し、市街地での起業・創業を支援 します。	・田辺市定住支援協議会 SUMORA TANABE https://tanabegurashi.jp/ ・和歌山県公式移住ポータルサイト わかやまLIFE>空き家バンク情報 https://www.wakayamagurashi.jp/house/				

資料10

[illegible]

■ 第 2 期田辺市総合戦略の全体像（基本目標と基本的方向）とデジタル化のメニュー表

基本目標	具体的な施策			田辺市の状況	デジタル化のメニュー （デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ（2024年春版） https://digiden-service-catalog.digital.go.jp/ および デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォームRAIDA https://raida.go.jp/ より）			
	施策 大分類	施策 小分類	デジタル化に関連する/つながる記述 （抜粋）		対象分野	サービス分類	概要	他自治体の事例
		2）街なかの賑わい創出	・市街地活性化施設「tanabe en+」を拠点とし、 地域の魅力の情報発信 を行うとともに街なかの賑わい創出を図ります。	・tanabe en+（タナベエンプラス） https://tanabe-enplus.jp/				
	4-2. 活力ある山村づくり	1）山村地域の活性化	・過疎や高齢化が著しく進行し、 集落機能の低下等の問題 が深刻化している集落に対して、集落支援員による支援を継続して実施します。	・2021年度TYPE1「市民の利便性向上のためのビデオ会議システムの導入」 行政局と本庁舎や市民総合センターを相互にビデオ会議システムを活用したネットワークで繋ぐことにより（行政局間の接続を含む）、本庁舎等へ来庁することなく従来通りの対面による行政相談や問い合わせが出来、また、関係団体等との会議についても効率的な開催が可能となり、市民の利便性が向上する。 ・R5補正予算TYPE1「キャッシュレス事業」本市の手続等に係る決済手段は現金や郵便小為替が主で、利便性の向上が課題となっている。そこで、市民課等における証明書発行、スポーツ施設や観光施設利用時の利用料支払いでキャッシュレス決済ができるレジ等を導入するとともに遠隔地から証明書を請求する場合に郵送申請に替わり電子申請で手数料決済まで完結するシステムを導入することで窓口及び電子申請双方でキャッシュレス化を実現し、市民の利便性向上等を図る。	・行政サービス	・オンライン申請 ・行政MaaS ・リモート窓口 ・コンビニ交付 ・水道スマートメーター	・各種行政手続きについて、来庁せずともオンラインで申請を可能とするもの ・移動車両等による行政手続き窓口 ・本庁舎と出先機関等をリモートで繋ぎ、本庁舎職員とのオンライン相談や窓口対応を可能とするもの ・コンビニでの住民票等証明書の発行や庁舎内へのキオスク端末導入により証明書を住民自ら発行可能とするもの ・スマートメーターを設置することにより、検針に行かずとも水道使用状況等を見える化するもの	4-2-1～5. オンライン申請：有田市、和歌山市、橋本市、新宮市、かつらぎ町 4-2-6. すさみ町「行政MaaS事業」 4-2-7～15. コンビニ交付：御坊市、新宮市、紀の川市、湯浅町、広川町、日高町、印南町、那智勝浦町、串本町 4-2-16. 岐阜県本巣市「水道スマートメーター導入事業」
	4-3. 誰もがいきいき暮らせるまちづくり	1）共生のまちづくり	・「たなべあんしんネットワーク」活動の推進により、住民が抱える福祉課題を発見・把握し、地域でそれらを解決していくための、 住民相互による助け合いの仕組みづくり を進めます。		・住民サービス ・産業振興	・自治会業務のデジタル化 ・地域通貨・ポイント ・行動変容促進	・自治会アプリ、電子閲覧板等で自治会業務をデジタル化するもの ・行動変容を促進する地域ポイントアプリ	4-3-1. 京都府京田辺市「区・自治会のデジタル化による地域活性化」
		2）健康寿命の延伸	・「自分の健康は自分でつくり守る」という意識の高揚を図るとともに、市民団体や関係機関との協働により、 市民の主体的な健康づくり を推進します。 ・生活習慣病や各種がんの予防・早期発見・早期治療に向け、特定健康診査や各種がん検診、特定保健指導に取り組みます。また、 A Iを活用した受診勧奨 等により、特定健康診査受診率の向上を図ります。	・田辺市安心安全コールサービス・認知症高齢者等見守りサポートシステム https://www.city.tanabe.lg.jp/yasuragi/kourei/fukushiservice.html ・R5補正予算TYPE1「介護認定審査会デジタル化事業」田辺市で運営している介護認定審査会（6合議体、1合議体に委員各6名）の紙資料を電子データ化し、タブレット端末から閲覧する方式に変更することで、ペーパーレス化及び事務効率化を図り、要介護認定の申請から認定までに係る期間を短縮することで、介護サービスを必要とする方が早期にサービス利用を開始できる体制を構築する。	・医療・福祉	・健康管理アプリ ・オンライン診療・服薬指導・医療MaaS ・病院等業務のデジタル化 ・自治体検診予約のデジタル化 ・高齢者・障がい者等の健康管理にするもの ・介護認定審査業務のデジタル化 ・見守り ・消防・救急業務のデジタル化	・健康情報の記録や家族・関係者との共有、健康マイレージ・ポイント事業のアプリ化等、健康管理をデジタル化するもの ・オンラインによって自宅や職場、医療機器等を搭載した車両等から、医師の診療や薬剤師の服薬指導を受けることを可能とするもの ・オンラインによる問診票の事前入力やアプリによるナースコール等、医療機関の業務をデジタル化するもの ・自治体の健康診断やがん検診をオンラインで予約可能とするもの ・タブレットやスマートスピーカー等を活用して、高齢者・障がい者等の健康情報等を共有可能にするもの ・認定調査のペーパーレス化や介護認定審査会のオンライン化等、介護認定審査業務をデジタル化するもの ・日常生活データ分析等による障害者、高齢者見守り ・搬送患者のデータを医療機関とリアルタイムに共有するシステム等、消防・救急業務をデジタル化するもの	4-3-2. 紀の川市「フレイル予防アプリ導入事業」 4-3-3. 愛媛県東温市「とうおんスマートヘルスケア創出事業」 4-3-4. 福島県白河市「健康診査等予約デジタル化事業」 4-3-5. 橋本市「介護認定業務のデジタル化」 4-3-6. 海南市「介護認定審査会事業（デジタル化）」 4-3-7. 和歌山市「高齢者・重度身体障害者見守りサービス事業」 4-3-8. 和歌山市「防災学習センターデジタル化整備事業」 4-3-9. 高野町「急性期医療ICT連携ネットワーク構築事業」
		3）高齢者の活躍の場づくり			・交通・物流	・運転免許認知機能検査のデジタル化	・高齢者が免許更新をする際に義務付けられている認知機能検査をデジタル化するもの	4-3-10. 東京都「認知機能検査用タブレット端末の導入」
		4）障害のある人の活躍の場づくり						
		5）地域力の強化	・住み慣れた地域で暮らし続けるために、 地域住民自身が地域課題を解決する仕組みづくり と持続的に取り組む組織体制の構築を推進します。		・産業振興	・地域通貨・ポイント ・域内コミュニティ形成	・地域コミュニティ活性化サービス ・コミュニティを活性化するマッチングサービス	

■ 第 2 期田辺市総合戦略の全体像（基本目標と基本的方向）とデジタル化のメニュー表

基本目標	具体的な施策			田辺市の状況	デジタル化のメニュー (デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ (2024年春版) https://digiden-service-catalog.digital.go.jp/ および デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォームRAIDA https://raida.go.jp/ より)			
	施策 大分類	施策 小分類	デジタル化に関連する/つながる記述 (抜粋)		対象分野	サービス分類	概要	他自治体の事例
	4-4. 地域のつながり強化	1) 各地域間の連携強化	・広大な市域を有する本市において、地域間を結ぶ路線バスの維持・確保や市街地と山村地域を結ぶ道路の整備を行うなど、 人・モノの交流を促進 し、市街地と山村地域間の連携を強化します。		・交通・物流	・ドローン／ロボットを活用した物流配送	・ドローンやロボットを活用し、物流配送を可能とするもの	4-4-1. 日高川町「ドローンを活用した新スマート物流実装事業」「災害時も活用できる次世代インフラ構築事業」
		2) 広域での連携強化						
	4-5. 公共インフラの効果的な活用	1) 公共交通の利便性向上	・路線バス事業者と連携し、 民間バス路線の運行維持 を図るとともに、行政局管内で運行している住民バスの運行形態の見直し等、 地域の実情に即した移動手段の確保 を図ることで住民の利便性の向上を図ります。	・田辺市内を運行する路線バス・住民バスのご案内 https://www.city.tanabe.lg.jp/kikaku/bus/bus_goannai.html	・交通・物流	・オンデマンド交通システム・バスロケーションシステム ・交通機関のデジタル化（事業者の枠組みを超えた交通情報の公開・共有 ・住民向けMaaS ・交通キャッシュレス導入 ・特定属性顧客への割引 ・自動運転バス	・乗客のリクエストに応じ、AIがリアルタイムでルートや時刻を決定して運行するバスサービスや、バスにGPSを搭載し、運行位置をオンライン上で公開するもの ・各バス事業者の運行情報データの公開・共有 ・交通手段の検索・予約・決済や車両による移動市役所、出張健康相談・行政相談等、住民向けのMaaSに関するもの ・公共交通機関における支払いを現金以外の方法でも可能とするもの ・マイナンバーカードかざしによる特定属性顧客（高齢者等）への割引ができるタクシー ・自動運転バスの乗車予約・配車・運行管理	4-5-1. 紀の川市「AIオンデマンド交通運行事業」 4-5-2. 【1-2-8再掲】和歌山県「紀伊半島における交通・観光のデジタル化事業」 4-5-3. 太地町「高齢者のための自動運転による公共交通サービスの導入」
		2) 道路ネットワークの整備		・R5補正予算TYPE1「田辺市公開型GIS構築事業」誰もが容易にインターネットを介して素早くアクセスができる公開型GISサービスを導入し、市民が投稿機能を使って地図上で損傷箇所を示すことで、修繕までの時間が短縮され、安全に生活ができるようになる。	・防災・インフラメンテナンス	・道路修理・補修伝達（住民投稿）システム ・スマート建設	・道路や公園等の損傷状況を住民がアプリ等を通じて投稿することにより、リアルタイムでの把握を可能とするもの ・3D測量・設計データの円滑な情報共有等、建設業をスマート化する特定のサービスを実装するもの	
		3) 情報通信基盤の整備	・超高速・超低遅延・多数同時接続等の通信が可能となる5 G（第5世代移動通信システム）など、 新たな通信技術・サービスの動向を的確に捉え、活用を検討 します。					
		4) 公共施設の適正管理と有効活用	・公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点をもって 公共施設の適切な維持管理 や統廃合、長寿命化を推進します。また、公共施設の効果的・効率的な管理運営に向けて、民間資金や民間ノウハウの導入を検討します。		・住民サービス	・公共施設等予約システム・スマートロックの導入 ・電子書籍（デジタルライブラリー） ・図書館業務のデジタル化	・公共施設等のオンライン予約やキャッシュレス決済、スマートロックの設置等公共施設の運用業務をデジタル化するもの ・図書館や学校において電子書籍を導入し、図書館に来館しなくても図書を閲覧可能とするもの ・図書館カードや蔵書管理のデジタル化、貸出予約システムの導入等、図書館業務をデジタル化するもの	4-5-4. 広川町「公共施設予約オンライン化推進事業」 4-5-5. 和歌山市「和歌山市民図書館のスマート化」 4-5-6. 岩出市「岩手図書館システム更新事業」

■ 第 2 期田辺市総合戦略の全体像（基本目標と基本的方向）とデジタル化のメニュー表

基本目標	具体的な施策			田辺市の状況	デジタル化のメニュー （デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ（2024年春版） https://digiden-service-catalog.digital.go.jp/ および デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォームRAIDA https://raida.go.jp/ より）			
	施策 大分類	施策 小分類	デジタル化に関連する/つながる記述 （抜粋）		対象分野	サービス分類	概要	他自治体の事例
			<div>・ 田辺市防災行政情報システム 防災・行政メール https://www.city.tanabe.lg.jp/bousai/bg-mail.html ・ 防災行政無線 https://www.city.tanabe.lg.jp/bousai/bg-musen.html ・ 2021年度TYPE1「デジタルツインの構築による地域の「魅力」・「価値」・「利益」の向上」 UAV（UnmannedAerialVehicle：無人航空機）測量（写真測量・レーザー測量）や、LiDar、SFM、3次元点群処理システムなどの技術を使って、街・地域・施設・文化資源・観光資源・景観資源などのデジタルツイン構築を行い、見える化を通じて、防災・消防、まちづくり、ファシリティマネジメント、環境・森林保全、景観・文化資源の保全、教育・生涯学習、ユニバーサルデザイン、空家、過疎・住民自治・移住定住、農林水産業、財務・契約など、多種多様・多角的なジャンルにおける行政課題の解決、地域が持つ「魅力」・「価値」・「利益」の向上、最大化を目指します。 ・ R5補正予算TYPE1「田辺市公開型GIS構築事業」</div>	・ 防災	<div>・ 地理情報システム（GIS）の活用 ・ 地籍図、各種台帳等のオンライン公開（GISを用いないデジタル化） ・ センサー／カメラ／ドローンの活用 ・ スマート除雪 ・ 被災者支援業務のデジタル化 ・ 防災ポータル・アプリ ・ 防災学習 ・ 災害リスク</div>	<div>・ GISを用いて、自治体の地図データ等を公開するもの ・ GISを用いずに、自治体の地図データ等を公開するもの ・ センサー・カメラ・ドローンを活用して水位や被害情報を収集し、災害情報を住民に発信する等、防災対応をデジタル化するもの ・ 除雪車にGPSを搭載し、除雪車の位置情報や稼働状況を把握・見える化するもの ・ 避難所の受付や罹災証明書発行、個別避難計画策定のデジタル化等、被災者支援業務をデジタル化するもの ・ 避難情報・防災情報を発信するポータルサイトやアプリ等を構築するもの ・ VRを使用した津波・洪水等の可視化や避難体験シミュレーション ・ 液状化、地震時揺れやすさ、土砂災害リスクのスコア化</div>	5-1. 和歌山県「和歌山県地理情報データ化事業」「建築行政のシステム基盤整備」 5-2. 御坊市「庁内地図情報デジタル化及び公開型GIS導入事業」 5-3. 美浜町「都市計画街路図作成（公開型データ作成事業）」 5-4. 和歌山県「ドローンを活用した県民の生活と命を守る体制構築」	
			<div>・ 広報田辺閲覧アプリ「マチイロ」 https://www.city.tanabe.lg.jp/kouhou/sonota/i-kouhoushi.html ・ 田辺市LINE公式アカウント https://www.city.tanabe.lg.jp/kikaku/line.html ・ 田辺市X・Facebookアカウント https://www.city.tanabe.lg.jp/kikaku/sns.html ・ R5補正予算TYPE1「キャッシュレス事業」本市の手続等に係る決済手段は現金や郵便小為替が主で、利便性の向上が課題となっている。そこで、市民課等における証明書発行、スポーツ施設や観光施設利用時の利用料支払いでキャッシュレス決済ができるレジ等を導入するとともに遠隔地から証明書を請求する場合に郵送申請に替わり電子申請で手数料決済まで完結するシステムを導入することで窓口及び電子申請双方でキャッシュレス化を実現し、市民の利便性向上等を図る。</div>	・ 行政サービス ・ 住民サービス ・ その他	<div>・ 窓口入力支援システム（書かない窓口） ・ キャッシュレス導入 ・ 電子入札・契約・請求システム ・ 議会対応のデジタル化 ・ ごみ収集のデジタル化 ・ 住民向けデジタルサイネージの設置 ・ 選挙・投票所受付 ・ AIチャットボット ・ その他</div>	<div>・ 窓口において、申請書等を書かずに手続きを可能とする等、住民手続の利便性向上に資する仕組みを導入するもの ・ 手数料や利用料等の支払いを現金以外の方法でも可能とするもの ・ 入札・契約・請求等に関する各種書類をペーパーレス化し、場所や時間の制約を受けずに手続きを可能とするもの ・ 本会議等のオンライン配信や、文字起こしシステム等を活用し、迅速に議事録を公開するもの ・ オンラインによる粗大ごみ受付やごみ収集車ロケーションシステム等、ごみ収集に関する手続き等をデジタル化するもの ・ 自治体の行政情報等をデジタルサイネージにて発信をするもの ・ 期日前投票所におけるMNCによる名簿対照サービス ・ 投票所受付におけるMNCによる名簿対照サービス ・ ホームページ、LINE、庁舎内等における住民向け案内や相談対応をチャットボットにより対応可能とするもの</div>	6-1～3. 窓口入力支援システム：橋本市、紀の川市、有田市 6-4. 和歌山県「収納窓口におけるキャッシュレス決済導入事業」 6-5. 和歌山市「デジタル技術による議会の見える化・伝わるか事業」 6-6. 広川町「デジタル通知サービスを活用した郵送DX事業」	